９／２７　校長室より №291

　今朝の全校集会は、新人大会の報告会。各部の部長が結果ならびに今後の抱負や感謝の言葉を述べました。その後講評ということで、私から次のような話をしました。

〈前略〉勝つチームがあれば負けるチームもあります。勝った試合もあれば負けた試合もあります。私は剣道をするのですが，剣道に「打って反省，打たれて感謝」という言葉があります。技を一本決めたとしても，本当にしっかり攻めて正しく打ったのかを振り返り，逆に技を決められた時には「いい所を打っていただきました。自分の至らなさを気付かせていただき，ありがとうございます。」という精神です。今回の皆さんにあてはめれば「勝って反省，負けて感謝」ということになるでしょうか。勝ったからといって有頂天にならず冷静に試合を分析して更に１ランク上をめざす。負けたチームは，自分たちの足りなかった点を試合を通じて教えてもらったことに感謝し，次につなげるということでしょう。今回は新人大会ということで，この大会で学んだことを，ぜひこれからの日々の練習や大会に生かしてください。

　この一冬の練習次第で来春の逆転は十分あります。大切なのは、チーム全員が同じ方向を向き、目標を共有すること。そして、それを持ち続けることです。この一冬での成長を期待します。

　それでは，すべての部の健闘を讃えるとともに，サッカー部，卓球部，陸上競技の南ブロック大会での活躍を祈念して講評とします。